

人は「つながり」の中で生かされ
生きることの意味を見出す存在である（田中至道氏）



みちしるべ

令和7年度
冬号

●目次

仏教の話・活動写真・質問箱・初参式のすすめ
様々な行事の写真を沢山掲載しています



秋の自然体験 親子さつまいも掘りに参加してくれた方々

春彼岸会のご案内

●三月十五日（日）

十三時半～十五時半
御講師：深水 健司 先生
（愛媛県太平寺）

しゅしゅうえ 修正会のご案内

新年最初のご法座は、若い先生が来られます。一年間を通して法座の皆勤賞の方には、十一月の報恩講でプレゼントを差し上げます。どうぞ奮ってお参りください。

●一月十八日（日）

十三時半～十五時半
御講師：石丸 涼道 先生
（防府市正善寺）

年末の大掃除

●十二月二十七日（土） 八時～九時

法座案内

住所：下松市藤光町 2-14-5
TEL：0833-41-3667
HP：「専明寺」で検索!!



専明寺 HP



専明寺インスタ
のんびり更新中!

お話

お仏壇がある生活

『日本一短い手紙』という本の中に、このような言葉が紹介されています。『ただいま』『おかえり』『おはよう』『おやすみなさい』がある場所が、私の故郷です」



この言葉に出会った時、私が大学時代を過ごした京都を久しぶりに訪れた時の「寂しさ」を思い出しました。私は高校を卒業後、京都の龍谷大学に入学し、大学院までの八年間を過ごしました。

懐かしい場所を歩きながら、「あのアパートに住んでいたなあ」「あの居酒屋で友達と語り明かしたなあ」と思い出に浸りました。しかし、学舎を訪れて若い学生たちが楽しそうに過ごしている姿を見た時、「自分にもあんな時があったな」と懐かしく思う一方で、もうそこには友人は誰一人いないのだという現実、ふと寂しさを感じたのです。

その時、先ほどの言葉が胸に落ちました。「そこに住んでいたから故郷になるんじゃない。『ただいま』『おかえり』と言える相手がいる場所こそが、故郷になるんだ」と。

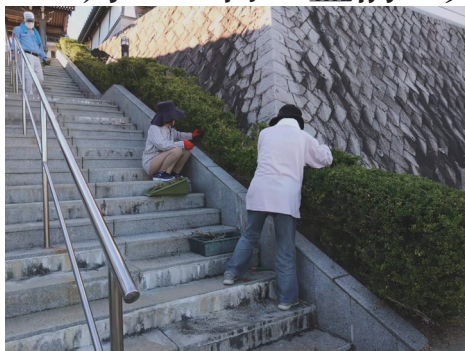
そして、そのことはまさに、お仏壇の前で手を合わせる姿と重なりました。「故郷」とは、場所のことではなく、私を待っていてくれる人がいる場所のことを言うのです。

浄土真宗で大切にしている『仏説阿弥陀経』というお経の中に、『俱くゑいつしよ一ひと処ところ』という言葉が出てきます。「俱ともに一つの処ところで会う」と読みます。この世での縁が尽きても、阿弥陀さまのお浄土で、また共に会わせていただくという意味です。先に往かれた方々も、阿弥陀さまの願いとはたらきによって、今はお浄土で仏さまになつておられます。

私も命尽きる時が来ます。その時には、お浄土に生まれさせていただき、仏とならせていただくのが浄土真宗の教えです。お仏壇がある生活だからこそ、私たちは「また会える世界（お浄土）」を身近に感じ、仏様に見守られながら、心安らかに生活をさせていただくことができるのです。

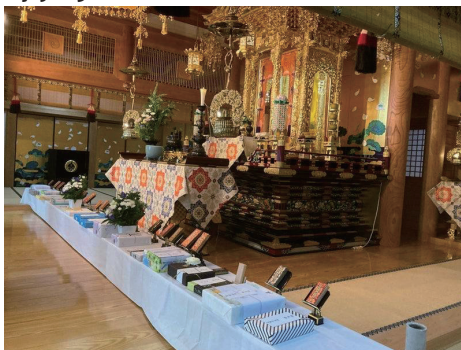
活動写真

7月26日 盆前の大掃除の様子



参道の階段やソテツなど日頃手が届かない場所まで皆さんが掃除をしてくださいました。

8月10日 盆法要の様子



盆法要には、たくさんの方がお参りになられました。専明寺では、戸別のお盆参り以外にも過去帳をご持参頂くと合同でお盆参りが出来ます。どうぞお寺の本堂にもこの機会にお参りください。

8月24日 サマースクールの様子

初めての試みで、専明寺を会場にしてサマースクールを夕方から行いました。下松組の青年僧侶の会が主催で多くの方が集まりました。



壮年会と婦人会の方にもお手伝いを頂き、カレー作りと飯盒炊飯をしました。活気あふれる専明寺です。



竹で作る竹ご飯に、子どもたちは興味津々。いつも以上にカレーを食べてくれて七十人前のカレーが一瞬で無くなりました。



下松組では、毎年サマースクールをしています。ウォークラリーやミニゲームも全部若僧会が企画運営しています。小学生対象ですので、どうぞ来年はご参加ください。



勉強会の様子



住職が講師を勤めて、勉強会を開催しています。休憩を入れて1時間ほどを予定しています。なるべく分かりやすいように話を努めて、質問があれば何でもお答えしたいと思います。どしどし質問を募集しています。

手作り紫蘇ジュース作りの様子



無農薬で自生している紫蘇を収穫して、紫蘇ジュース作りをします。道の駅だと1000円で売っていますが、自分たちで作ればプライスレスです。

9月6日 秋彼岸会の様子



ほうえい堂さん恒例のお菓子、この度は猫の可愛い和菓子でした。作ったお弁当の数も圧巻です。

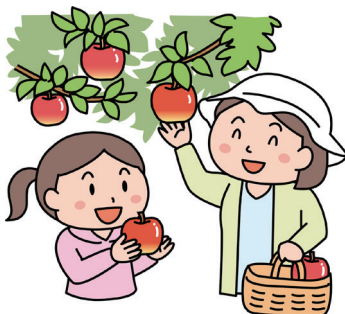
10月5日 壮年会主催のりんご狩りバーベキュー



隔年で開催していたりんご狩りですが、好評につき毎年開催することになりました。子どもたちが楽しそうにりんご狩りをしている姿をみて、大人たちも癒やされました。昨年参加していた子どもが大幅に成長している成長が見られるのも楽しみの1つです。



来年も
開催するよ！
参加してね♪



11月3日 親子さつまいも掘りの様子



今年のサツマイモは特に大きく成長していました。スーパーでは見られないようなサツマイモに子どもたちは大喜びです。「大きなサツマイモが掘れたよー」と見せに来てくれました。





10月14日 干し柿作り
 今年は柿が豊作でした。もったいないので、みなさんと干し柿作りをしました。話しながらワイワイ作業中です。



11月9日 報恩講の様子



大きな写真右側：法座の準皆勤賞の方々

大きな写真左側：法座の皆勤賞の方々。

久しぶりに本堂が満堂になりました。お寺の行事で一番大切な報恩講にたくさんの方がお参りに来られて住職として嬉しく思います。



11月9日 専明寺の紅葉の様子



もっと沢山の紅葉を植えて、下松の紅葉の名勝にしたいと思います。



質問箱

姓の違う故人の納骨は
一緒にしてもいいの？

(仏事のイロハという書籍から引用です。)

ある女性からこのような相談がありました。

「娘婿のご両親の反対を押し切って結婚した娘が先日亡くなり、葬式を済ませたのですが、遺骨は婿家のお墓には入れてもらえず、かといって、我が家のお墓にも【姓の違う故人の遺骨は入れてはいけない】と人に言われて途方にくれています。どうしたらよいのでしょうか」

と相談がありました。残された親の心は、どれほどつらく、その悲しみは計り知れないほど深かったものでしょう。また同時に、執らわれるべきではないことに執らわれ、自らを縛りつけて苦悩を深めている親の姿に、改めて迷信の怖さを感じました。

姓の違う故人は先祖の墓に納骨してはいけないという事以外にも、勘当した息子の骨は入れられないとか、仲の悪かった人同士の骨を一緒にすると喧嘩になるなど、まるで骨の縄張り争いのようなことを気にする人がいますが、そういうことは宗教上、一切気にする必要はありません。ですから故人を大切に思う心があれば、堂々と自分の家のお墓に納骨すればいいのです。



遺骨に対する偏見は、骨そのものを故人と見るところから生じてきます。しかも、その「骨」の故人は生前の自己中心的な欲望や感情、それにしきたりなどに縛られたままの故人なのです。

実は、そういう目でしか故人を見れない私自身こそ問題なのです。私の尺度で死後の世界を捉えようとし、挙句の果てに不幸が重なれば先祖のせいになかない私です。

しかし、故人は何も骨のままでじっとしているわけではありません。お浄土で仏様となり、私たちのためにはたらいておられるのです。

たとえ生前対立していた故人同士でも「くえいつしよ俱会二処」のお浄土のこと、世俗のわだかまりから解放されて、ともに手を取り合いお念仏の教えを説いてくださっているのです。

「骨の縄張り」を気にするのではなく、故人の遺骨をご縁として、私自身が根源のないのちの願い、真実の教えを聞くことがなりよりも大切なことなのです。



畑通信 (耕心録)

畑を作りませんか？

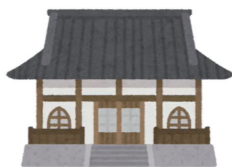
シェア畑では、「農業を通じて命の大切さや大地のめぐみを学ぶ」ことをコンセプトとして、活動しています。

野菜づくりの楽しさを人に伝えてみませんか。家族・友人に畑で出来た野菜を差し上げると大変喜んで頂けます。物価高騰・インフレ時代ですので、自分たちで野菜を作りませんか？



クイズ

お寺の横に人が立ってる！
誰が立ってる？



答えは裏表紙下段へ



お寺のホームページでは、行事や日々の出来事、また外観のライトアップなど色々情報を発信しています。「下松 専明寺」で検索してね。

「今さら聞けない」をスッキリ解決！

浄土真宗きほんの「き」

一月二十六日(月) 十四時

ご法事の際、お焼香の作法に戸惑ったことはありませんか？入門講座は、そんなあなたのための講座です。一緒に学んでいきましょう。費用は初回のみ千円です。



お朝事の会

(毎月最終土曜日開催)

一月三十一日 八時～十時
二月二十八日 八時～十時
三月二十八日 八時～十時

本堂でお経をお勤めし、住職が身近な事

から仏教のお話をします。

その後、境内の掃除を十分

ほどして皆さんとお茶とお菓子を頂きます。服装は動きやすい服装でご参加

下さい。



初参式のすすめ

子どもと一緒に手を合わせるそう

「我が子には、幸せになってほしい」

幸せな時だけが人生ではありません。大きくなると、「辛い事」、「苦しい事」だってたくさんあります。思い通りにならない事がむしろ多いかもしれません。それでも家族が集まり、我が子を見守る中で、子どもの心が豊かに育つのではないのでしょうか。

子どもが生まれて、初めてお寺にお参りする大切な儀式を「初参式」といいます。

何歳のお子様でも初参式は勤められます。どうぞお寺までご連絡ください。

●内容…お念珠と輪袈裟授与。お経・本

願寺ご門主のお手紙代

読、家族に向けた短い

お話、記念品授与、記念撮影



継職法要実行委員会

お稚児さん募集

継職法要の時に、一緒に町内を歩いてくれる小学生・園児の子どもさんを募集しています。



納骨堂の紹介

天候に左右されず、いつでもキレイにお参りできる納骨堂は非常に便利です。

・墓じまいを検討の方

・お墓が山の上にあるお参りが困難な方

・子どもが遠方にてお墓の維持が難しい方

●夫婦タイプ納骨堂

30万円(骨壺が2つ入ります)

●家族タイプ納骨堂

100万円/120万円

※本堂下の納骨堂は、管理費として年間8,000円が必要になります。

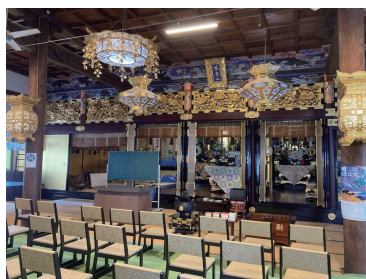
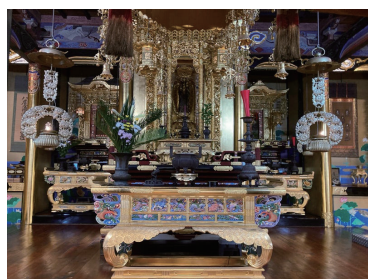
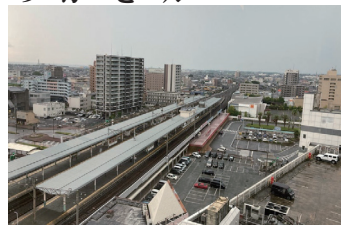


前住職ブログ「法^{ほう}労^{ろう}記」

法^{ほう}労^{ろう}記とは、前住職が全国各地で布教活動する中で、各地のお寺の様子を発信しています。

九月十日

大分県中津市のホテルに泊まり、賢明寺へ行きました。ホテルの部屋から雨模様の中津駅周辺の様子。昼席は十三時半からです。素晴らしい極彩色の内陣

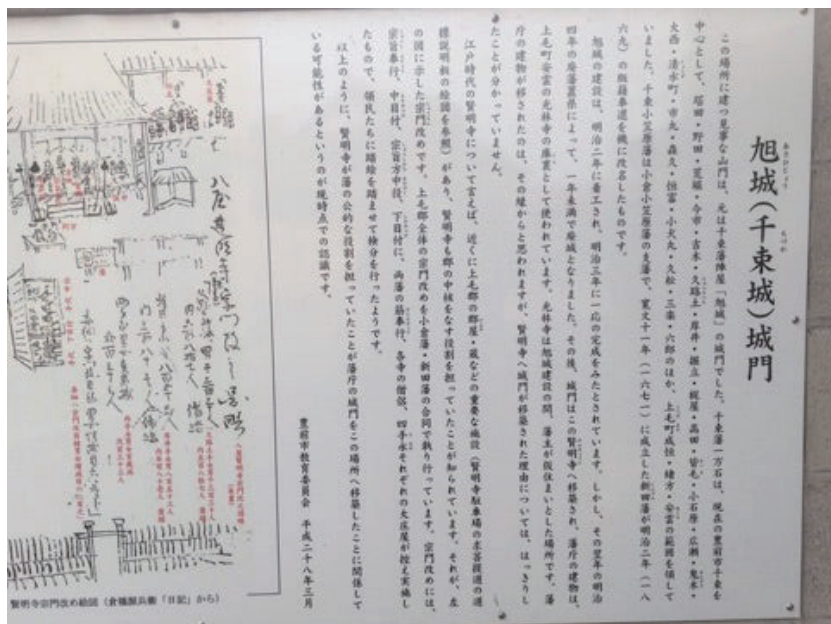


平成二十年に本堂屋根瓦の葺き替え工事で以前の大棟にあった鬼瓦と、旭城の城門を移築された山門



●賢明寺の山門の歴史

旭城(千束城)城門



新たな繋がりを

壮年会・婦人会

会員募集

お寺で一緒に活躍しませんか？

壮年会では、十月五日(日)にリング狩りバーベキューを行いました。婦人会の方には、発送作業や行事でのお弁当作りなどお手伝いを頂いています。

春先には、椎茸の菌打ちを計画。詳しくはお寺までご連絡ください。

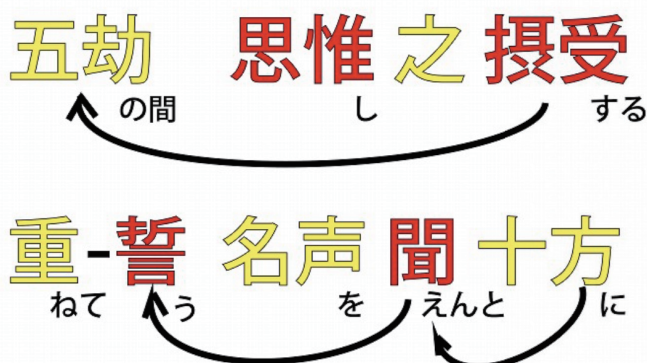


一緒に過ごしましょう
参加お待ちしております

【書き下し文】五劫これを思惟して摂受す 重ねて誓ふらくは、名声十方に聞えんと

【現代語訳】五劫もの長い間思惟してこの誓願を選び取り、名号をすべての世界に聞えさせようと重ねて誓われた。

← 語句説明



← 解説

阿弥陀様がまだ法蔵菩薩という修行者であられた時、迷いの渦中にいる私たちを救うために「五劫」という永い時間をかけて思案を重ねられました。これを「五劫思惟」と言います。

一劫とは、四十里四方の巨大な岩が、百年に一度降りてくる天女の羽衣の摩擦だけですり減ってなくなるほどの長大な時間と譬えられます。それほどの時間をかけ、法蔵菩薩はいったい何を悩み抜かれたのでしょうか。

それは、煩惱を断ち切る厳しい修行ができない私たち凡夫を、一人として見捨てることなく、どのようにしてそのまま救うかという一点でした。法蔵菩薩は、二百十億もの数多の仏国土をつぶさに観察し、その中から優れたものだけを運び取り（摂受）、ついに私たちを救う手立てとして「南無阿弥陀仏」のお名号を完成させました。

「重誓名号聞十方」とは、その完成されたお名号を、十方世界の隅々まで響き渡らせると、重ねて誓われたことです。

今、私たちが称えるお念仏は、阿弥陀様が五劫もの思案の末に選り抜き、私に届けてくださった「救いのよびごえ」そのものです。私の口からお念仏が出るということは、阿弥陀様の願いが、今まさに私に至り届いている尊い証なのです。



9月15日	6月9日	3月24日	法座 スタンプリ
秋彼岸 11月11日	永代経 8月5日	春彼岸 3月27日	2018 新しいお念仏は、 HPまたはお電話を 御覧ください。
降誕会	盆会	降誕会	修正会

専明寺では、年間七回の行事にご参加いただくことで、お寺のスタンプを集めることができます。また、仏教の教えを共に学ぶ「法座」を定期的に開催しております。法座では、お経を唱えた後、講師の先生から日々の生活に役立つ仏教のお話を伺います。服装に特に決まりはありませんので、普段着でお気軽にお越しください。初めての方も大歓迎です。皆さまのお越しを心よりお待ちしております。

修正会	1月18日
春彼岸会	3月15日
降誕会	5月10日
永代経	6月6日
盆会	8月9日
秋彼岸会	9月13日
報恩講	11月15日

法座スタンプリ



先着108名に
お菓子をプレゼント

大晦日 除夜の鐘



2025 年
12月31日

16 時～18 時まで

※どなた様もお誘い合わせの上ご参加ください。

法事のお知らせ

1 周忌	令和 7 (2025) 年
3 回忌	令和 6 (2024) 年
7 回忌	令和 1 (2020) 年
13 回忌	平成 26 (2014) 年
17 回忌	平成 22 (2010) 年
25 回忌	平成 14 (2002) 年
33 回忌	平成 6 (1994) 年
50 回忌	昭和 52 (1977) 年

※お仏壇の過去帳をご確認ください。

クイズの答え：侍（さむらい）

編集後記（若院）

お寺の行事が一段と活発になりました。紙面の都合上、掲載できない写真もたくさんあり、全部紹介することが出来ないのが残念です。詳しくはお寺のホームページを御覧ください。インスタもあります。詳しくは表紙のQRコードをご覧ください。

専明寺では、さらなる活動と発信をしていく為に、カメラマンのボランティアを募集しています。プロ・アマ問いません。何人か集まれば、行事の時にローテーションを組んで都合の良い時にご参加を頂ければと思います。どうぞお力添えをくださいますよう、よろしくお願いいたします。